



現場から（最近のニュースから）

自己肯定



新年が始まりました。年頭から地震が起き、新年を祝うより、これからどうなるのかと不安を覚える幕開けになっています。世界中、どこを見ても、戦争や自然災害、政治家の問題、経済の問題、理由の分からない病気など、問題だらけのように見えます。世界まで見なくても、身近な家族や親戚の問題、健康問題、家計の問題も頭を悩ませることが多いでしょう。そのような中で、自分を否定することなく前向きに生きるために

「自己肯定感を高める」ことを言われることがあります。元メジャーリーガーのイチロー氏が「自己肯定」について語った記事がありました。

12月21日のインスタライブ「悩める大人の相談ライブ #イチ問一答」でゲストの女優・堀田茜さんからの「自己肯定感、仕事が思い通りにいかない時に自分を否定してしまう瞬間がある。前向きに生きるには？」という質問に対してイチロー氏は「まず仕事なんか思い通りにいかないですよ。基本的にいかないと思う。いかないけど、感触としてできてないけど、見てる人にとってはいいものになってる。そういうものだと思う。感触と評価は違う」とした上で「自己肯定感という言葉、目にしたことなかったです。イメージですけど、すごく気持ち悪い言葉です。自己肯定ですよ。いや〜、気持ち悪くないですか」と、首をひねったということです。そして、「自分を肯定するのは僕は凄く抵抗があります。僕の場合は疑問符をつけてます。自分がやったこと、やろうとすることに。これが強い人ってストレスフリーで楽しそうに仕事みたいな感じですか？それってどうなんですかね。いいなって思うけど、その人たちは人としての厚みが生まれるんだろうか。瞬間瞬間はいい仕事ができるんだろうけど。明らかにダメなのに否定されない。自分でもいいことしか振り返らない。第三者からも指摘されない。僕は墮落すると思いますけどね。人が最悪になるときって、自分が偉いって思った人たち。最悪というか魅力的じゃない。それが生まれるんじゃないかと。これが強すぎる人は」と、疑問を呈したそうです。（12月21日デイリースポーツ<イチロー氏「僕にとってはずごく気持ち悪い言葉」自己肯定感求める風潮に持論「人としての厚みが生まれるんだろうか。僕は墮落すると」>より）

ほとんどの人は、自分の世界を持っていて、それがすべてで正解だと思っています。その世界に共感してくれる人と仲良くなるので、それが違うことに気づくことなく生きていきます。その中で自分の思うとおりになったとき、自分は良くやっていると思い、自分の基準でまわりを評価していきます。それは、イチロー氏が言うように、人間として狭くなってしまい、井の中の蛙、お山の大将となることでしかありません。ただ、それに気づくには、まったく違う観点から見る目が必要ですが、どんなに多くの人と接し、多くの場所を訪れ、多くの経験を積み、書物やいろいろな情報に触れても、それらを受け止めている自分自身が変わることは難しく、まったく次元の違う観点を持つことは難しいのです。まったく新しい自分になって、まったく新しい観点から見る目を持ちたくても、自分ですることは難しいです。しかし、あなたがまったく新しい目を持って歩むことができる道があります。そのことをお知らせしたいのです。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあり、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になるし、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快樂に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ



5:8)、私たちが苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。

もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってください。感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください